

## 経営シミュレーションの変更点について

第5回会議と今回の経営シミュレーションにおける建設事業費の主な変更点については下記のとおりです。

- ・ 病床数については300～350床としていたため最大数の350床でのシミュレーションとしていたが、基本構想原案にあわせて300床としている。
- ・ 建築単価については、独立行政法人福祉医療機構の融資制度における標準建築単価を参考に免震構造分を加味し1床あたり1,900万円と想定している。
- ・ 設計・管理費については近年の建設事例を参考に建設工事費の4%を見込んでいる。
- ・ 統合新病院へ移設可能な機器は新たに購入しないこととし、3.5億円を減らしている。
- ・ 看護師養成所及び初期救急医療センターの併設等について基本構想原案において継続して検討することとしたため今回の建設事業費には見込んでいない。